

学校給食応援団事業について

佐久市 経済部

子ども達に地元農産物への理解を深めてもらう食育の推進と、佐久市農業の活性化を目的とし、地元農家の方々が作った農産物を直接、小・中学校の給食センターに提供する組織。

「地産地消により、佐久の農業生産を活性化させたい」

「子ども達に、佐久の美味しく安心・安全な農産物を食べさせたい」



佐久市産の安心・安全な農産物の提供により

- ①新しい販路の確保 ②地域農業の活性化
 - ③子ども達への食育推進 ④子ども達の郷土愛の醸成
- 等々の様々な効果が期待されます。

◎ 学校給食応援団と関係機関とのつながり



◎ 学校給食応援団の概要

(平成29年7月現在)

応援団名	発足	主な構成員	年度 品目数 数量 (応援団の割合)
望月学校給食応援団	H26/4	新規就農者等12名、こまがた直売所 ・ 団長兼マネージャー：土屋 興亜 (こまがた直売所経営者)	H26 16品目 4,895kg (26.6%) H27 15品目 2,981kg (13.6%) H28 19品目 3,406kg (17.5%) 納品期間 5月～2月
浅科学校給食応援団	H26/4	中小規模農業従事者等14名 ・ 団長：井出 廣己 (小規模農業者) ・ マネージャー：佐藤 敏行 (小規模農業者)	H26 12品目 2,973kg (16.8%) H27 24品目 4,793kg (28.1%) H28 28品目 4,436kg (27.0%) 納品期間 4月～3月
臼田学校給食応援団	H27/6	五稜の里直売所18名、農事組合法人ふるさと信州50名、佐久有機農業研究協議会2名 ・ 団長：神津 有稟 (新規就農・小規模農業者) ・ マネージャー：楠本 健介 (新規就農・小規模農業者)	H27 13品目 3,435kg (12.1%) H28 19品目 4,065kg (14.6%) 納品期間 7月～12月
佐久学校給食応援団	H28/7	農事組合法人ふるさと信州50名、佐久城山小学校関係者3名 ・ 団長：茂木 幹夫 (ふるさと信州理事) ・ マネージャー：榎澤 孝子 (ふるさと信州経理担当者)	H28 南部：19品目11,590kg (16.5%) 北部：15品目11,698kg (13.4%) 納品期間 7月～3月

◎ H28年度 学校給食応援団の活動

資料1-2

① 各種会議の開催

給食センター・応援団・農政課・学校給食課等による打ち合わせや目揃い会などの会議の開催

全団対象	技術向上研修	H28.8.3	佐久市営農支援センター講師による
	全体反省会	H29.1.27	

浅科学校給食応援団	毎月第一水曜日定例会開催 (目揃い・納品予定打ち合わせ等)
望月学校給食応援団	月一回定例会開催 (目揃い・運営方法及び次期役員決定会議)
臼田学校給食応援団	6月末 H28年度納入計画等についての協議
佐久学校給食応援団	H27～打ち合わせ・発足準備会H28.5/25～ 発足式H28.7.14



佐久学校給食応援団 発足式



玉ねぎ栽培講習会

② 会食会への参加

学校主催による、学校給食応援団員を招いての生徒児童との会食会参加

浅科学校給食応援団	7/20・10/13 浅科小学校11名参加 11/7・11/11 浅科中学校6名参加
望月学校給食応援団	12/7 望月小学校4名参加
臼田学校給食応援団	9/28青沼小学校5名参加 10/14臼田小学校4名参加 11/25田口小学校2名参加 11/30切原小学校2名参加
佐久学校給食応援団	佐久城山小学校において楽農倶楽部とコロックづくりと昼食会開催



望月学校給食応援団 会食会



臼田学校給食応援団 会食会

③ 学校の畑や団員の畑等での栽培体験や指導

浅科学校給食応援団	小学校内の畑において、サツマイモの苗植えと収穫体験の実施
臼田学校給食応援団	有機農業研究協議会畑にてジャガイモの収穫体験
佐久学校給食応援団	楽農倶楽部畑にてジャガイモの収穫体験



浅科学校給食応援団 さつまいも収穫体験

④ 学校給食応援団活動の広報

学校給食応援便りの発行（H29.3発行）市内全小中学校児童生徒・教師・応援団員への配布

※学校給食応援便りは別添参照

⑤ 学校給食応援団活動支援事業補助金による資材等の導入

事業主体	: 各学校給食応援団
補助概要	: 応援団の行う活動や備品購入等に対して、1応援団あたり10万円以内の補助を開始
事業内容	: 通いコンテナ・台秤・FAX等の購入、研修会の実施



納品時使用する通いコンテナ及び30kg秤

◎ H29年度 学校給食応援団の活動計画

① 学校給食応援団の活動支援

- (1) 農産物の円滑な納入や品質向上等に関する打合せ会の開催
- (2) 学校給食センターとの情報交換会の実施→応援団ごと随時
- (3) 学校給食センターへの見学会の実施
- (4) 学校給食応援団活動支援事業補助金による資材等の導入支援

② 学校給食応援団による児童への食育活動

- (1) 学校主催による、生徒児童との会食会
- (2) 学校給食応援団員による農作業体験会・料理教室等

③ 「応援団便り」の作成

- (1) 目的
学校給食応援団の活動を児童・生徒に周知し、学校給食応援団との顔の見える関係を構築するため、「応援団便り」を作成し全児童・生徒に配布する。
- (2) 内容
応援団の活動や給食の話題など、写真やイラスト等を活用しながら分かりやすく紹介する。
- (3) 配布時期

2回配布（9月・3月）

④ ポスターなど活動紹介媒体の作成

- (1) 目的
児童生徒が普段から目にする場所に掲示するポスターを作成、配布し、学校給食応援団活動をより身近に感じてもらう。
栄養士や調理員の食育活動を目的とした各学校訪問時に、学校給食応援団事業の魅力を最大限伝えるために活動紹介の媒体を作成する。
- (2) 内容
応援団員の顔写真や、作物を収穫してから学校給食に提供されるまでの流れなどを分かりやすく紹介する。

⑤ 全体反省会の開催

- (1) 趣旨
各学校給食応援団と、1年を通しての成果や課題を報告しあい、次年度以降のより円滑な農作物の提供と食育の推進を目指す。
- (2) 開催時期
H30年1月頃を予定。